

Matinee de Clarinette et Piano

クラリネット (ティム・カーター)、ピアノ (大島直子)

デュオ コンサート



2017年 11月 11日 (土)

午後 2 時開演 (1 時 30 分開場) 全席自由 2,000 円

港区立男女平等参画センター、リーブラホール

港区芝浦一丁目 16 番 1 号 みなとパーク芝浦 1 階 (電話: 03-3456-4149)

JR 田町駅 東口 (芝浦口) 徒歩 5 分 / 都営地下鉄三田駅 A6 出口 徒歩 6 分

♪ プログラム ♪

Francis Jean Marcel Poulenc, Charles Camille Saint-Saëns, Robert Alexander Schumann, etc.

プーランク クラリネットとピアノのためのソナタ

サンサーンス クラリネットとピアノのためのソナタ

シューマン 幻想小曲集 作品 73

チケットのお申し込みは主催者まで

主催 上智大学ソフィア会 日欧事情研究会 (代表 永田啓子 agneskeiko@gmail.com)

演奏者 Profil

ピアノ 大島直子 おおしま なおこ

14歳で渡仏し、エコール・ノルマルでジャック・ジャンティに師事。帰国後、遠山慶子に師事。フェリス女学院の音楽科に入学し、山岡優子に師事。中退して再びフランスに渡り、イボンヌ・ロリオ、ジェルメーヌ・ムニエに師事。フランスを代表する名ヴァイオリニスト、ジャン=ジャック・カントロフと38回共演し、絶賛を博す。また妹の文子(クラリネット奏者)とのデュオは、アメリカのボードイン音楽祭、日本音楽コンクール、さらにベオグラードでのリサイタル、あるいはラジオ・テレビ出演などで聴衆に鮮やかな印象を与え、高い評価を確立した。また、スイスならびに日本におけるロームミュージックファンデーション音楽セミナーに専属伴奏者として毎年参加した。2005年より、毎年夏に北軽井沢において妹の文子とミュージックセミナーを開催している。姉妹デュオによるCDには、アメリカ人作曲家の作品を集めた「アメリカン・スナップショット」、日本の歌ばかり27曲を集めた「十五の心」、また最新盤には、世界的なクラリネットの名手であるチャールズ・ナイディックを迎えて2本のクラリネットとピアノのための作品集を収録した「イル・コンヴェーニョ」等があり、いずれも高い評価を得ている。現在に至るまで日本国内を始め海外でも意欲的な活動を続け、数々の演奏家の伴奏者、室内楽奏者として活躍している。

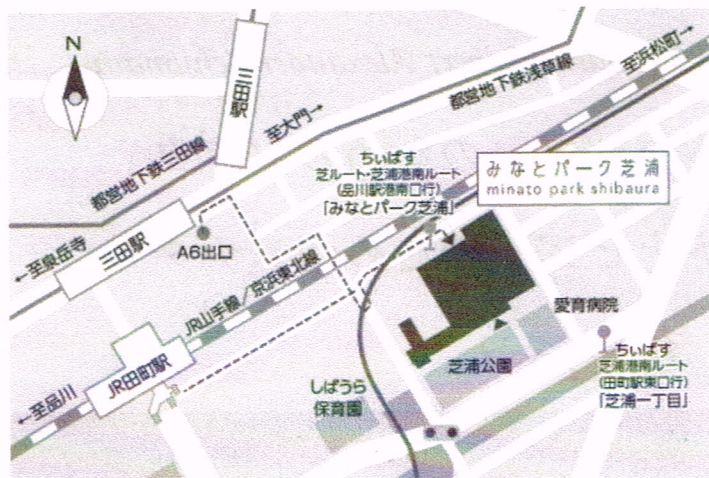
クラリネット Timothy W Carter ティモシー (ティム)・カーター

アメリカ東海岸のメイン州で生まれる。幼少期よりクラシック音楽に興味を抱くようになり、高校・大学とジュリアード音楽院に進む。在学中、ソリスト、室内楽奏者、またオーケストラのクラリネット奏者として、アメリカ・ヨーロッパ・日本など世界各地で演奏する。その中には、京都国際音楽学生フェスティバル、タンゲルウッド音楽センター、マルボロを含む数々の公演も含まれる。クラリネットをイエフダ・ジラード、チャールズ・ナイディック、大島文子の各氏に師事。卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。2007年から2009年まで、首席クラリネット奏者を務める。在籍中に、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ウィーンフィルハーモニーの演奏者と渋谷オーチャードホールにて3度共演(トヨタ マスター プレイヤーズ)。その後、新日本フィルハーモニー交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ東京等、様々な日本のオーケストラとゲスト首席クラリネットとして演奏。また、ソロクラリネット奏者として、日本やヨーロッパで開催された国際音楽コンクールで数々の上位入賞を飾る。現在は東京に住まい、元麻布のマリーインタナショナルスクールで子供の音楽授業の指導を行う。最近では日本のみならずアメリカや中国でもソリストや室内楽奏者としてコンサートで演奏。またソロ奏者として、一般的なクラリネットのレパートリーのみならず、「マルチメディア」かつ「クラシックのクロスオーバー」な演奏会の開発にも注目している。さらに、クラシックの象徴的かつ感動的な作品の、クラリネットのための新しい編曲を自ら行っている。

港区立男女平等参画センター、リーブラホール

港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦1階(電話:03-3456-4149)

JR田町駅 東口(芝浦口) 徒歩5分都営地下鉄三田駅 A6出口 徒歩6分



上智大学ソフィア会 日欧事情研究会から一言

2012年に上智大学外国語学部フランス語学科の卒業生を中心にこの研究会を立ち上げました。ヨーロッパの政治・経済・文化への知識を広め意見を交換し親睦を深めようという会です。これまで様々な分野の専門家をお招きして、講演会などを行ってききましたが、今回は、知り合いの音楽家のご協力でヨーロッパのクラシック音楽、とりわけフランスの作曲家を取り上げることになりました。ピアノとクラリネットのデュオという、異色のコンサートですが、プーランクやサンサーンス、それにシューマンなどの作品で素敵なコンサートになるのではないのでしょうか。

代表: 永田 啓子 (agneskeiko@gmail.com)